

# 太平洋クロマグロ2017年生まれ 加入量モニタリング速報 (第1報 2017年10月)

国立研究開発法人  
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 太平洋南および九州西※<sup>1</sup>で操業した曳縄モニタリング船※<sup>2</sup>について、夏季(7~8月)のCPUE(漁獲努力量あたり漁獲尾数)を南西諸島海域生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2017年における夏季の曳縄モニタリング船CPUEは、2011~2016年平均の198%、前年比174%であり、2011年以降最も高かった。
- 2017年の南西諸島海域生まれの加入量は、モニタリングを開始した2011年以降では比較的高い水準である可能性が高い。

(※<sup>1</sup>) 太平洋南は、宮崎県、高知県、和歌山県、三重県。九州西は、長崎県。

(※<sup>2</sup>) 2011年からモニタリングを開始。2017年は45隻のヨコワ曳縄漁船の操業データを使用している。

過去のデータ(2011-2016年)平均を  
1とした時の相対値

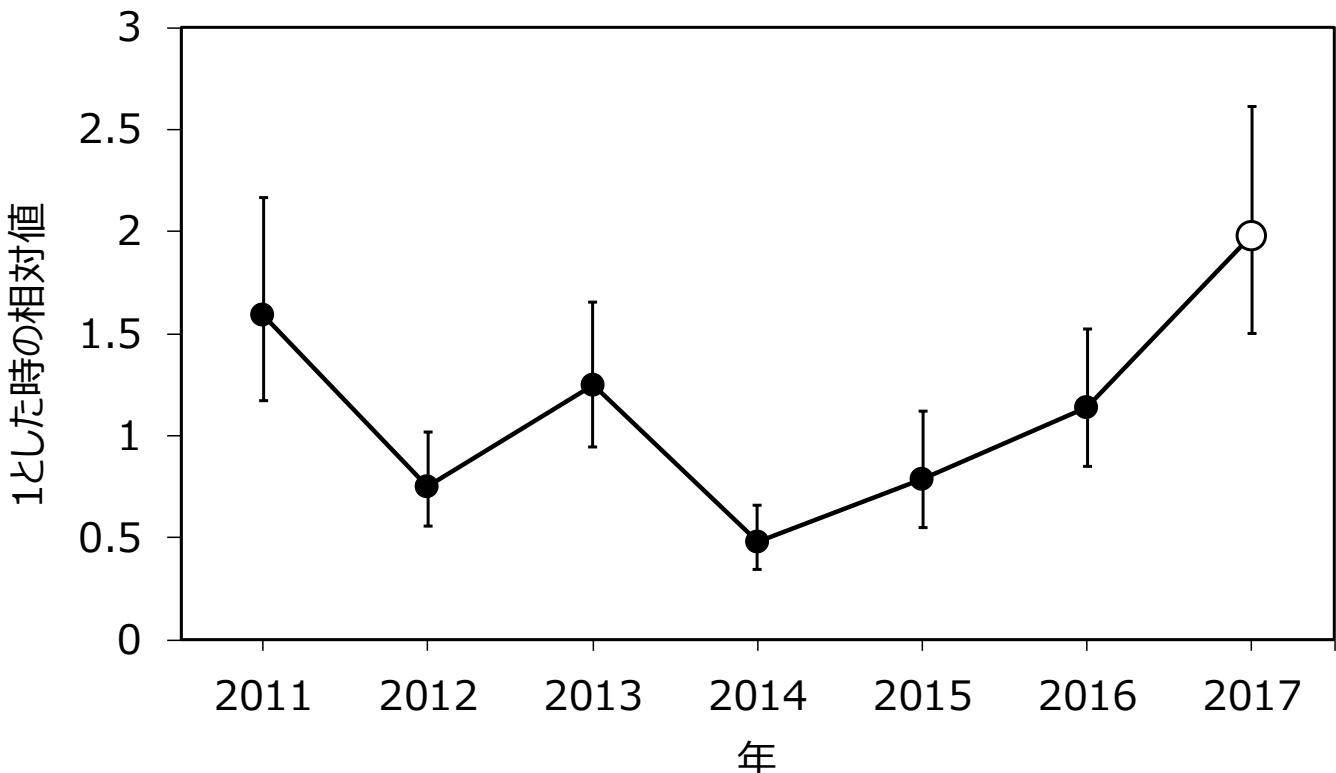


図. 2011~2017年の夏季の曳縄モニタリング船CPUEの相対値。  
図中の垂線は95%信頼区間。